



開拓

編集発行
安八郡輪之内中学校
PTA 会報委員会
題字 江崎勝則
印刷 ダイキュー



伸樹祭スローガン 「百歌繚乱」～奏・総・想・創・贈～



3年生発表

- 1組「走る川」
- 2組「春に」
- 3組「名づけられた葉」
- 4組「ひとつの朝」
- 学年合唱
「消えた八月」



2年生発表

- 1組「遠い日の歌」
- 2組「心の瞳」
- 3組「COSMOS」
- 学年合唱
「時の旅人」



1年生発表

- 1組「マイ・バラード」
- 2組「君をのせて」
- 3組「フェニックス」
- 学年合唱
「太陽がくれた季節」



開花!

心に響く合唱

生徒会長 松岡 巧朗

今回の伸樹祭は、最初から最後まで鳥肌が立ちっぱなしになるぐらい感動的なものになったと思います。それは、合唱の技能、合唱に対する強い思い、そして、クラスの調和、そういったことが体全体で感じることができたからだと思います。満開になった大輪の花が美しく咲き乱れるかのように美しい合唱。それは、僕たち輪中の一つの財産になりました。これからも多くの花を咲かせていきたいです。

歌声委員長 鈴木 菜月

みなさん、「やりきった」伸樹祭に出来たでしょうか?

伸樹祭前の過程でみんなが頑張る、一人一人が努力したからこそ良い合唱、精一杯のハーモニーを創り上げることが出来たのだと思います。

この伸樹祭を生かし、これからもより良い合唱を目指して高め合えるよう、一致団結して頑張っていきたいと思います。

琵琶湖研修

時間を守ることの大切さ

2年1組 水谷 凧沙

「時間を意識して行動すること」これが、琵琶湖研修を通して身に付けられたことだと思います。研修に行く前に時間の取り組みをやったことをいかして、四分前には全員が集合・整列することができてよかったです。時間を守ることは、活動などの時間が長くなることにつながります。だから、研修だけではなく、これからの生活でも、時間の意識を続けられるようにしたいです。



琵琶湖で学んだこと

2年1組 栗田 瑛司

2年生は、琵琶湖の特に環境について学ぶことができたと思います。全員が新聞づくりのもととなるメモを、話を聞きながら真剣にとり、東近江市の環境についてより深く知ることができました。特に時間では生徒会で時間の取り組みをやりそれを成功させることができました。研修でも4分前集合ができ日常生活で得た力を発揮できました。学校生活でも研修で得た力を全員が発揮できるようにしたい。



はじめの中の楽しさ

2年2組 越智 海濤

私は、琵琶湖研修を終え思ったことがあります。それは、はじめと楽しくやるのが大切だということです。

琵琶湖研修での活動はすごく多くて、話を聞く場面が多かったです。その時みんなは、相手の方を向き、めあてであるメモをたくさんとり話を聞いていました。また、レクでは、みんなで楽しみ、おもいっきり遊ぶことができました。

はじめがつけられ、楽しくできることは本当に大切だと思いました。



環境を仲間への思いやり

2年2組 渡辺 裕斗

環境学習では、廃食油からローソクを作り、せっけんや燃料にもリサイクルできる事を学びました。湖や町を自分達で守るためにいろんな取り組みをされていて驚きました。僕も環境に対する意識をもっと高くもって積極的にリサイクル活動をしたいです。近江八幡班別学習では、全校で取り組んだダンゴプロジェクトをやりきった事で、仲間と声をかけ合って協力し、楽しく活動する事ができました。

修学旅行

震災の跡から

3年2組 入山 彩香

被災地を巡って、震災の跡をこの目で見ることは貴重な体験だとも思いました。当時のまま残されているクスノキが心に残りました。焼けても残った枝に葉っぱをつけ、力強く成長している姿が、被災された方に頑張ろうという勇気を与えたことでしょう。対策をしていれば…と後悔している方もいると思います。そんな後悔をしなくても良いように、自分も地震対策をして、たった一つしかない命を守っていきたいです。

呉「大和ミュージアム」と「鉄のくじら館」を見学して

3年2組 森島 史仁

僕は、この旅行で心に残った所は「大和ミュージアム」と「鉄のくじら館」です。そこでは戦艦大和の乗員の遺書や遺品、特攻兵器や広島で作られた多くの兵器が展示されていました。遺書には「自分の家族や日本を守るために死んでくる」という内容が書かれており、今の僕たちと同じ年の少年たちがたくさん戦地へと狩り出されました。家族に囲まれて、毎日したいことができる自分たちがいかに幸せなのか…。今を精一杯生きたいです。



仲間の新しい発見(USJ)

3年3組 伊藤 亜季

修学旅行3日目はUSJへ行きました。とてもよい天気、朝からみんな楽しみにしていました。USJでは限られた時間の中で班ごとに何に乗るのか、食事はどうするか、おみやげは何を買うかを考え、時間を意識して行動することができました。仲間の優しさや決断力、判断力など、教室では見つかることのできなかつた一面をたくさん発見できたことがとてもうれしく心に残りました。

戦争の詩朗読会に参加して

3年3組 大橋 康平

朗読会で詩をきいて、その詩にはとてもリアルにそのときの様子が書かれていて、計り知れないほどの悲しみが伝わってきた。ぼくは、一部の人の欲望によりこんな悲惨な状況になってしまったことにとっても怒りを感じ、絶対にこの人類最大の過ちを繰り返してはいけないと思う。ぼくは、戦争をなくすために、世界中の一人一人が戦争についてもっと知って、もっと深く考えていかないといけないと思った。



広島班別研修を通して

3年1組 加藤 光稀

調べ学習で原爆が落とされた当時は、広島市内は、跡形も残らないほどめちゃくちゃに破壊されたことを知りました。そして、実際に広島という地に立って、原爆ドームや爆心地である病院を見てまわっていると、今はほとんど復興されたとはいえ、骨組みだけになったドームやくずれた建物からは、原爆の恐ろしさや、当時の人々の苦しみ伝わってくるようでした。



目をそらしてはいけない事

3年1組 田中 李茉

今の日本にはありえない事。それは戦争。平和資料記念館には戦争の辛く悲しい現実がありました。被災した人の顔は焼けただれ、直視することができないほどでした。なぜ、何も関係のない人たちまでこんな悲惨な目に会わなければならないのか、何の罪があるのか…。

今の地球にはたくさんの核兵器があります。これをなくさなくては本当の平和とはいえない。そう強く思いました。

平和を考える

3年4組 木地 衿香

私達3年生は修学旅行で広島へ行きました。広島平和記念公園で平和のセレモニーを行い、戦争の犠牲になられた方々へ向け私達の平和への祈りと合唱を送りました。合唱では、学校で歌うのとは違い、戦争の時の情景を感じながら歌いました。そして、3年生全員で平和への祈りを込め、千羽ソルを折り、ささげました。平和の尊さについて考える事ができた時間でした。私達の祈りが届くといいです。



原爆体験者の語りを聞いて

3年4組 森 成寿

僕は、原爆が落ちた後の語り部さんの逃げまどうときの話が胸につきささりました。

語り部さんが山を登って逃げるとき山道は倒れた人でいっぱいその人たちの上を歩き、足をつかまれながらも逃げたということ。「助けて」とうめく人を置き去りにして逃げる苦悩。本当に戦争は残酷なものだと思いました。僕たちは、今ある平和な世界を守り二度と戦争を起こしてはいけないと強く思いました。



深まった絆

2年3組 縄田 彩乃

「仲間と関わり仲間とともに高めあう琵琶湖研修」のスローガンに対して、一人一人が自分の仕事に責任を持ちながら呼びかけをしたことで、全員が時間やルールを意識して2日間、生活することができました。また個々の持てる力を出し合うことで、全員の絆が深まったことも実感しました。研修の成果をこれからの中学生活の中でも生かし、学年が一丸となって頑張っていきたいと思います。



団結と友情

2年3組 石川 智也

今回の琵琶湖研修にあたって、何日もかけて計画をたて、全員の協力で、ほぼ計画通りにできました。研修で得たものは、環境に関する知識だけではなく、オリエンテーリングで班で話し合いながらゴールを目指したときの団結力やレクなどで得た友情だと思います。これからは、この団結力や友情を活かし、2年3組が一つになれるように、全員で協力し、活発に活動できるクラスを目指したいと思います。



一人の努力がみんなの成長に

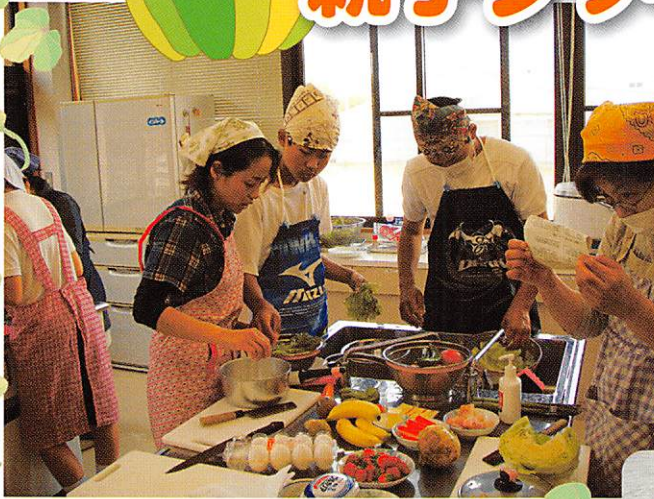
2年主任 安田れい子

今回の研修では、日常生活でつけてきた個々の力を発揮し、さらにこの研修でその力を高めていこうと考え、班の中に一人一役制を導入して、「全員でつくる研修」にすることをねらいとしました。研修のそれぞれの場面では、いつも自分の役割を果たそうと動きまわる係の人がいて、どの活動も笑顔と活気があふれていました。きっとそこには、いつも一人一人が責任を果たそうとする姿と、その姿を見守り、認め、支えてくれる仲間の心や姿があったからだと感じました。まさに、一人の頑張りが仲間の成長にもつながった琵琶湖研修となりました。



親子クッキング

5月21日 土 開講



メニュー

- ・トマたま丼
- ・野菜たっぷりマカロニスープ
- ・ちぎって盛り合わせサラダ
- ・フルーツヨーグルト
クランブルかけ

母親委員会

副委員長 吉田 恵美

今回の親子クッキングには、沢山の親子の皆さんが参加して頂き、本当にありがとうございました。

栄養士の方や食改の方々にも色々と指導して頂いて料理がとてもおいしく出来ました。親子の絆も深まりとても良かったと思いました。



第1回

資源回収

6月4日 土



福祉委員会

委員長 坂 沙有美

資源回収では多くの方々にお手伝いしていただき、ありがとうございました。

今回、回収したお金は大切に輪中の活動でも使わせていただきます。

編集後記

夏休みが始まります。日頃出来なかった事や、やってみたかった事にチャレンジするチャンスです。是非、楽しい思い出を作ってください。

収益金:338,203円

ご協力ありがとうございました。

次回は、10月15日(土)です。

